

平成22年度事務事業評価シート(平成21年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	04	項	01	目	02
事務事業名	在宅外科当番医運営委託事業								
担当部署	健康福祉部健康増進センター	406000	電話	62-9301				内線	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	01:安心して健やかに暮らせるまちづくり
	施策の大綱	01:保健・医療の充実
	施策	03:地域医療体制の充実
	施策の内容	02:救急医療体制の整備
根拠法令等		

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	休祭日及び年末年始の救急外科患者の医療の確保を目的とする。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	休祭日及び年末年始の救急外科患者。
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	大曲仙北医師会に委託して、休祭日及び年末年始における一次外科救急医療体制により、地域住民の安全を確保するため、仙北組合総合病院、大曲中通病院が当番制で担当し、地域救急医療に当たっている。
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	休祭日及び年末年始の救急外科患者に対応処置していることで市民が安心して暮らしている。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 診療日数	日	70	70	70	
	②					
	③					
成果 (事業の成果を測る)	① 受診者数	人	408	419	419	
	②					
	③					
投入コスト	決算額		4,428千円	4,428千円	4,428千円	
		一般財源	4,428千円	4,428千円	4,428千円	
	人件費			714千円	714千円	705千円
		一般職員の年間従事人数		0.1人	0.1人	0.1人
		一般職員以外の年間従事人数				
総コスト	(決算額+人件費)		5,142千円	5,142千円	5,133千円	

事業を取り巻く環境	医師不足の中で、地域の医療の崩壊が始まっており、当大仙市においても地域医療の拠点となる仙北組合総合病院でも同じ様なことが起きている。医師の確保が今後の課題となってくる。
-----------	--

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 事業の目的を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	地域住民が、安心して生活できるために必要である。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	A
	評価の理由	休祭日及び年末年始の救急外科対応により、市民が望む医療体制の確保が図られており、年間400人以上の市民から利用されている。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	2病院で効率的に対応しているため、現体制が、最も有効に救急患者に対応できる体制である。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)	
現状	A 現状のまま継続	市民が急患時に安心して医療が受けられるように今後とも医師会の協力を得て継続する。
	B 改善しながら継続	
	C 拡大	
	D 縮小	
	E 廃止	